



第1回 条件づけと学習の研究会

日時：2016年7月30日（土）10:00~12:00

場所：甲南大学18号館3階講演室

参加無料・事前申し込み不要

どなたでもお気軽にご参加ください

教育講演（第I部）

Pavlovの条件反射と心理学

時間：10:00~11:00

講師：宮田洋（関西学院大学名誉教授／学習心理学・生理心理学）

司会：沼田恵太郎（甲南大学人間科学研究所／学習心理学・生理心理学）

講師紹介：宮田洋

関西学院大学名誉教授。博士（文学）。古典的条件づけ、慣れと注意、自律反応の道具的条件づけ、有意統制とバイオフィードバック、先行刺激による反射変容、 $Fm\theta$ 、虚偽検出、時間評価、タイプA、生物リズムと睡眠、対人認知と印象形成、ストレスなど、多くの実験心理学的研究を行っている。『心理学の基礎（4版）』『新生理心理学（3巻）』など著書多数。日本生理心理学会代表、北米パヴロフ学会会長を歴任。現在、日本心理学会名誉会員、関西心理学会名誉会員、日本生理心理学会名誉会員。

講演内容：

ネズミやヒトを対象とした実験や、留学先（ポーランド・ネンツキー実験医学研究所のコノルスキー研究室）でのイヌの実験の経験のほか、条件づけと実験神経症、ストレス、パーソナリティとの関連についてお話頂きます。教科書には書かれていないエピソードについてもご紹介頂く予定です。



小講演（第Ⅱ部）

好き嫌いを変える“条件づけ”

時間：11:00～11:30

講師：沼田恵太郎（甲南大学人間科学研究所／学習心理学・生理心理学）

講演内容：イヌに限らず、私たちの身の回りにも“条件づけ”は溢れています。本講演ではテレビCMなどの広告や、トラウマや恐怖症を題材として、古典的条件づけ研究が社会心理学や臨床心理学、教育心理学などの近接領域といかに関わっているか、議論したいと考えています。

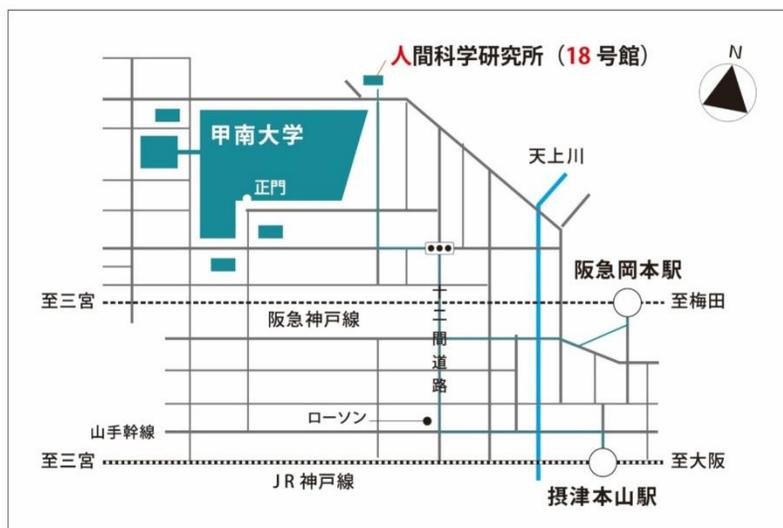
体験学習（第Ⅲ部）

スマホで始める生理心理学

時間：11:30～12:00

講師：沼田恵太郎・宮田洋

体験内容：「パヴロフのイヌ」の事例が示すように、動物やヒトの心理状態の変化は、しばしば身体に影響します。ワクワク（興奮）やたいくつ（抑制）などの心のモノサシとして、心理学の研究では生理指標がしばしば用いられますが、残念ながら、その測定方法を学ぶ機会は十分に用意されているとは言えません。ここでは携帯電話（スマートフォン）を用いた体験学習を行い、心と身体の関係への気づき、生理心理学を身近に感じられる機会を提供します。



問い合わせ先：
甲南大学人間科学研究所

〒658-0073
神戸市東灘区岡本8-9-1
078-435-2683

kihs@center.konan-u.ac.jp

- ・ 阪急神戸線岡本駅またはJR神戸線摂津本山駅下車、北西へ徒歩約10分。
- ・ 会場には駐車場がありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。